

# 福岡みらい病院で

## 骨盤臓器脱に対する骨盤底リハビリテーションを

### 受けられた患者様へ

当院婦人科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	骨盤臓器脱患者に対する骨盤底リハビリテーションの有効性
当院の研究責任者（所属） 本研究の目的	茗荷 舞（婦人科） 骨盤底リハビリテーション（骨盤底筋訓練）は、産後の尿失禁に対して1948年にKegelらにより考案されたトレーニングです。尿失禁国際禁制学会では、臓器脱を有する女性の骨盤底症状の軽減に骨盤底筋訓練が有効である（推奨グレード：A）とし、尿失禁のあるすべての年齢の女性に対する第一選択の保存的治療法として推奨されるべきである（推奨グレード：A）としています。 しかしながら、日本においてはまだ保険収載されておらず、自費診療で行われていることが現状です。 また、骨盤臓器脱の手術治療後の再発率は15～30%と高いですが、骨盤底筋訓練が再発予防に効果的かどうかについては、報告数が少なく一定の見解を得られていません。 今回、当院で骨盤臓器脱患者および術後患者に対し、骨盤底筋訓練を行うことで骨盤底症状の改善や、患者満足度の上昇、術後再発の低減につながるかどうかについて研究します。
調査データ該当期間	西暦 2025年 5月 1日～西暦 2030年 5月 1日
研究方法	●調査の対象となる患者様 福岡みらい病院婦人科外来を受診した骨盤臓器脱の患者様、または福岡みらい病院で骨盤臓器脱に対する手術を施行された患者様で、骨盤底筋訓練を受け自宅トレーニングを行うことに同意を得た方を対象とします。 <電子カルテに記載のある診療情報> ① 臨床所見（年齢、身長、体重、既往歴、分娩歴、生活様式他） ② 骨盤臓器脱の診断、POP-Qスコア、治療の有無、術式 ③ 骨盤底リハビリテーション後のアンケート結果 ④ 術後再発率
個人情報の取り扱い	収集したデータは、患者様を直接特定できる個人情報は削除し誰のデータかわからなくした（匿名化という）上で統計的処理を行います。研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 婦人科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：茗荷 舞